



2016年9月14日

各 位

社会的責任投資指数 「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」 の構成銘柄に3年連続で選定

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、社会的責任投資（Social Responsibility Investment、以下、SRI）の代表的指数「Dow Jones Sustainability Indices」（以下、DJSI）のアジア・太平洋版である「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄として、昨年に引き続き選定されましたので、お知らせいたします。

DJSI は、S&P ダウ・ジョーンズ社（米国）とロベコ SAM 社（スイス）が作成する代表的な SRI 指標であり、企業の社会的責任に関心を持つ世界中の投資家にとって重要な投資選択基準の一つとなっております。DJSI Asia Pacific は、アジア・オセアニア地域の企業を対象とした指数で、今年度は同地域における主要企業 600 社から、上位 146 社（うち日本企業 68 社）が選出されました。

DJSI への組み入れは、対象企業へのアンケートや公開情報（アニュアルレポート、ウェブサイト）などにより審査され、企業の経済・環境・社会面での持続可能性（sustainability）の評価により構成銘柄が毎年選定されます。中外製薬は 2014 年度よりエントリーしており、上記 3 分野における積極的な取り組みが評価され、3 年連続 3 回目の選定となります。

中外製薬は、DJSI と並ぶ世界的な SRI 株価指数である「FTSE4Good Index」の構成銘柄としても 2003 年から継続して選定されるなど、環境・社会・ガバナンスの観点で持続可能性が高く評価されています。

中外製薬は、「すべての革新は患者さんのために」という事業哲学のもと、革新的な医薬品とサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献することで、生命関連企業として積極的に社会的責任を果たしてまいります。

以上